

令和 6 年 10 月 9 日

食農学類 4 年の佐々木康生さんがビジネスアイデアコンテスト「イノベのたまご 2024」の若年層ビジネスアイデア部門において最優秀賞と海外派遣賞をダブル受賞！

農学群食農学類 4 年の佐々木康生さんが、令和 6 年 9 月 15 日（日）に東日本大震災・原子力災害伝承館（福島県双葉町）で開催されたビジネスアイデアコンテスト「イノベのたまご 2024」の若年層ビジネスアイデア部門において、最優秀賞と海外派遣賞をダブル受賞しました。

【受賞概要】

発表者：福島大学農学群食農学類 4 年 佐々木康生

指導教員：尾形慎

アドバイザー：松田幹、永井義人、工藤哲志

受賞名：若年層ビジネスアイデア部門最優秀賞、海外派遣賞

演題：福島のオリゴ糖が未来を創るー循環型食農産業クラスターの形成ー

佐々木康生さんは、現在、植物性タンパク質として世界的にも注目を集めている「大豆」に着目し、福島県浜通り地域において、大豆の生産から加工、さらには生じる廃棄物の再利用までの全てを行う、循環型食農産業クラスターの形成をビジネスアイデアとして提案しました。その中でも、脱脂大豆から大豆タンパク質を製造する工程で産出する食品廃棄物「大豆ホエイ」の利活用には、佐々木康生さんも発明者の一人である福島大学発の特許出願技術「マンニトリオースの製造方法（特願 2024-103839）」が用いられています。

今回受賞した最優秀賞は、各部門から 1 名ずつ与えられる賞であり、令和 7 年度 FTC プログラムに応募した際には、審査で加点対象となります。また、海外派遣賞は、ファイナリストの中から 2 名選出され、シンガポールの教育機関等でのピッチを含めた交流への派遣が予定されています。

【ビジネスアイデアコンテスト「イノベのたまご」について】

ビジネスアイデアコンテスト「イノベのたまご」は、福島県と公益財団法人福島イノベーション・コースト構想推進機構の主催で行われ、イノベ地域（福島県浜通り地域等 15 市町村）の発展につながる 6 分野（廃炉、ロボット・ドローン、エネルギー・環境・リサイクル、農林水産業、医療関連、航空宇宙）を中心としたイノベーションを起こすことが期待される新たなビジネスアイデアに関して、

幅広く募集し、評価するものです。本ビジネスアイデアコンテストによるプレゼンテーション等を通じて、起業に向けた機運の醸成を図るとともに、情報発信を行い、将来的に参加者のイノベ地域での事業展開へつなげることを目的に実施されます。



イノベのたまご 2024 若年層ビジネスアイデア部門において最優秀賞と海外派遣賞を受賞した佐々木康生さん（写真、中央）

（お問い合わせ先）
食農学類・准教授 尾形 慎
電話：024-503-4982
メール：ogata@agri.fukushima-u.ac.jp